

天草市民センター展示ホール
小中学校の書道・絵画、高校美術部の作品展

天草市	本町小学校	6 年	作陶作品
		4 年	土人形山姥と金時
	佐伊津小学校	6 年	作陶作品と俳句
		5 年	短歌
	栖本小学校	6 年	作陶作品・カルタ
	本渡北小学校	6 年	作陶作品
	本渡東小学校	2 年	土玩具色つき
		6 年	短歌
	本渡中学校	特別支援学級	バラモン風
		3 年	とおしもん
上天草市	河浦小学校	1、2、6 年	絵画（恐竜の絵）
	亀川小学校	5 年	俳句
	五和小学校	4 年	絵画（チラシ掲載原画）
	登立小学校	特別支援学級	立体作品
		4 年	立体作品
苓北町	中北小学校	6 年	絵画（チラシ掲載原画）
	教良木小学校	全校児童	絵画（共同作品）
	坂瀬川小学校	4～6 年	描画、工作品
	苓北中学校	2 年	手でみる造形作品
		特別支援学級	絵画
	志岐小学校	1～3 年	絵画
		4 年	毛筆
		5 年	短歌
		6 年	毛筆
	苓北支援学校 苓北町内小学校合同 （3・4 年生）	共同制作	絵画（チラシ掲載原画）
	五足の靴頭彰 全国短歌大会	第 39 回入賞作品	短歌

これまでの『くまもと子ども芸術祭』開催地

- 第1回（2013）天草（天草市民センター）
- 第2回（2014）人吉（人吉市カルチャーパレス・人吉スポーツパレス）
- 第3回（2015）菊池（菊池文化会館）
- 第4回（2016）山鹿（八千代座）
- 第5回（2017）八代（八代市厚生会館）
- 第6回（2018）荒尾（荒尾総合文化センター）
- 第7回（2019）天草（天草市民センター）
- 第8回（2020）上益城（ ）
- 第9回（2021）熊本（ ）
- 第10回（2022）玉名（ ）
- 第11回（2023）熊本（ ）
- 第12回（2024）宇土（ ）
- 第13回（2025）オールあまくさ（天草市民センター）

●冬季展示のごあんない

- 令和7年 10・11 月 上天草市文化協会の文化祭で作品を展示する予定です。
「苓北ふるさとふれあい文化祭」や地区単位で作品を展示します。
- 12 月 天草市中央新町の「ギャラリー四季」にて絵画・書道作品を展示します。
（12月2日～28日）
- ギャラリー四季
本渡中央銀天街内 中央新町6-15

「藍色の海」上天草市立市北小学校 6 年生 原田郁美さん



「オルカンをひく私」天草市立五和小学校 4 年生 中村由希羽さん

「苓北ノイミ」苓北町立 4 小学校 3、4 年生・熊本県立苓北支援学校合同作品



第67回熊本県芸術文化祭参加事業



くまもと
子ども芸術祭2025
in オールあまくさ
～ひきつぐ文化 かがやく子どもの未来～

令和7年
8/2^土～3^日
入場料無料

展示
部門

8月2日^土・3日^日
9:00～16:00

天草市民センター・展示ホール

主催
くまもと子ども芸術祭 2025
in オールあまくさ実行委員会

問い合わせ先 実施委員会事務局
一般社団法人 天草市芸術文化協会
熊本県天草市東町3 TEL・FAX0969-22-8797

体験
部門

8月2日^土・3日^日
10:00～正午

天草市民センター・展示ホール

舞台
部門

8月3日^日
正午開場 13:00 開演

天草市民センターホール

構成団体
熊本県、熊本県教育委員会、熊本県文化協会、天草市、上天草市、苓北町
天草市教育委員会、上天草市教育委員会、苓北町教育委員会
（一社）天草市芸術文化協会、上天草市文化協会、苓北町文化協会

後援
熊本日日新聞社、NHK 熊本放送局、RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791
天草ケーブルネットワーク



第67回 熊本県芸術文化祭参加事業

くまもと 子ども芸術祭2025 in オールあまくさ ～ひきつぐ文化 かがやく子どもの未来～

出演順

司会進行 上天草市立維和小学校 6 年生

順	出演者	楽器	地区
1	高平台なかよし合奏クラブ	□□□□□□□□	熊本市
2	来賓紹介		
3	主催者あいさつ	村上輝和様 木村敬様 馬場昭治様	
4	えびす太鼓	えびす太鼓	天草市
5	ハレ・カイ	□□□□□□□□	天草市
6	坂東繁布美社中	□□□□□□□□	天草市
7	上天草市長あいさつ	堀江隆臣様	
8	龍神太鼓	龍神太鼓	上天草市
9	五和小中学校合同吹奏楽	□□□□□□□□	天草市
10	大浦の子守唄の会	大浦の子守唄	天草市
11	苓北町長あいさつ	山崎秀典様	
12	天領太鼓	天領太鼓	苓北町
13	大矢野中学校吹奏楽		上天草市
14	天草拓心高校 郷土芸能部	天草ハイヤ踊り	天草市
15	フィナーレ		

出演団体紹介

高平台なかよし合奏クラブ／吹奏楽

2025 年 (令和 7 年) に創立 50 年を迎えるクラブには、高平台小 3 年生～ 6 年生の 34 人が所属。九州大会のステージパフォーマンス部門で金賞を受賞。九州地区代表 2 校の一つに選ばれ、10 月 26 日に北海道で開催された全国大会に挑んだ。「緊張感があり各パートのソロも多く、難解な曲」(顧問の中野崇之教諭)とされる楽曲「鬼姫」を演奏し、見事、金賞を受賞した。(熊日 2024/9/27 記事より一部抜粋)
金賞受賞は、全支部代表 22 校のうち 5 校。(第 43 回全日本小学生バンドフェスティバル HP より)



天草市立倉岳小学校 えびす太鼓／和太鼓

私たちは倉岳小学校の 5・6 年生です。倉岳小学校は天草一高い山「倉岳」のふもとにあり、2 階の教室からは海も見える素敵なところにあります。

そんな素敵な場所で、毎日元気いっぱい過ごしています。みんなが仲良く委員会や縦割り班行動などで協力し合って頑張っています。今日は下級生にもかっこいい先輩としての姿を見せたいです。



ハレ・カイ (天草市有明町) ／フラダンス

私たちは有明町大浦で練習しているチームです。

少人数ですがみんなでワイワイ楽しく活動しています。

今日は初めての楽器に挑戦しました。みなさんに楽しんでもらえたらうれしいです。



坂東繁布美社中 大東桜乃 (天草市) ／舞踊

私たちは天草在中の ALT の方々と文化の交流をしており、今年で 27 年目を迎えました。

ボランティアで彼等に日本舞踊を指導しております。彼等から母国の伝統行事、ダンス、食文化と英語を学んでおります。彼等の発表の場として毎年 6 月に「国際交流の祭典」を開催しております。

昨年より中学生の大東桜乃さんが入会し、この上ない喜びを感じております。チーム全員で大事に育成しております。現在は文化を担う子どもたちが少ないですがその中の一人として立派に継承してくれる事を願っております。

本日は、短期間で習得した「藤娘」を披露いたしますので応援よろしくお願いいたします。



上天草市立龍ヶ岳中学校 龍神太鼓／和太鼓

私たちは龍ヶ岳中学校の 1 年生です。

地域の文化を学ぶ中で、平成元年に創作された「龍神太鼓」を、地域の方々の指導を受け、取り組んできました。

龍神太鼓は、平成元年に「ふるさと創生事業」の一環として、地域の活性化を目的に創作された和太鼓です。

龍ヶ岳町の豊作・豊漁、そして山や海の安全を祈願する意味が込められています。

私たちは実際に演奏を通して、礼儀作法やチームワークの大切さを学びました。

また、地域の行事に参加することで、地域の方々との交流や、郷土について考えるきっかけにもなっています。

今回の子ども芸術祭では、龍ヶ岳町の自然の恵みと、皆様の安全・健康を願いながら、心を込めて演奏いたします。

どうぞ、私たちの龍神太鼓の演奏をお楽しみください。



出演団体紹介

天草市立五和小・五和中 合同吹奏楽部／吹奏楽

五和小学校吹奏楽団&五和中学校吹奏楽部です。
五和小学校は4年生～6年生16人、五和中学校は1～3年生11名で活動しています。

今年、五和小学校は部活動としての活動が最後の年になるので、できることを精一杯やりきろう!!と日々の練習に励んでいます。

今回は小・中 合同で演奏できるということで楽しみにしてきました。みんな一緒に練習する時間は少なかったですが、力を合わせて演奏します。



大浦の子守唄の会（天草市有明町）／子守唄

100年以上前から歌われていた大浦の子守唄が、昭和55年にCDになり、踊りが振りつけられました。天草東高校が存続していた時は、受け継がれていましたが2012年（平成24年）に閉校しそのままに。昨年の夏に小学生4～6年生で再結成し継承していくことになりました。まだ2年目の子ども達が五木の子守唄、福連木の子守唄に負けたくない、大浦の子守唄を有名にしたいとがんばっています。



苓北町立苓北中学校 天領太鼓／和太鼓

江戸時代、島原・天草一揆の後、天草は江戸幕府直轄地である「天領」となりましたが、当時は苓北町の富岡に代官所が置かれ天草の政治・経済の中心地であったことから、「天領太鼓」と名付けられました。その天領太鼓も、近年、休止状態でしたが、地元苓北中学校生の熱意により2022年（令和4年）に復活しました。天領太鼓保存会の指導により練習を重ね、町内外の各種イベント等に出演しています。



上天草市立大矢野中学校吹奏楽団／吹奏楽

上天草市立大矢野中学校吹奏楽団です。
今年は1年生3人、2年生4人、3年生9人の計16人で少人数ながら毎日の練習を重ねてきました。

私たちの目標は「一人一人が豊かな音と温かなハーモニー作りをめざすこと」そして「聴いてくださる人の心に届く演奏をすること」です。この目標に向かって今年もコンクールを始め、たくさんのイベントにチャレンジしようと頑張っています。今日も私たちの心がみなさんに届きますように精一杯演奏したいと思います。どうぞお聴きください。



ユミダンススタジオ（天草市）／ダンス

ユミダンススタジオは、天草でダンススタジオをスタートして20年目。天草各地のイベントに出演させていただき、成長させていただいております。

ジャンルは、ヒップホップ、ジャズ、ガールズヒップホップ、ロックンロールがあり、3歳のお子さんから大人の方まで、様々なクラスでダンスを楽しんでいます。



熊本県立天草拓心高校郷土芸能部／天草ハイヤ節

私たち天草拓心高校郷土芸能部は、地元の要請を受けて発足し、今年で29年目を迎えることになりました。

地域のいろいろなイベントで披露する場をいただき、とても嬉しく思っています。これからも、部員一同力を合わせ、「天草ハイヤ節」を通して、天草の伝統や情熱を継承し、多くの人に天草の魅力を伝えられるよう頑張ります。

天草ハイヤ節は牛深ハイヤ節にルーツを持ち、五橋開通を祝って踊られたものです。歌詞や踊りには、天草の自然や歴史、風物が織り交ぜられています。手踊りで潮風や波を表現し、手ぬぐいを行商の竿に、棒を船の櫂に見立てて踊ります。



上天草市立維和小学校6年生／司会進行



8月2日①・3日②

10:00～正午

会場

天草市民センター・展示ホール

天草陶磁器の島づくり協議会

作陶体験



- 8/2①・8/3②
- 9:30受付
- 10:00～正午
- ※小・中学生が対象
- ※各日先着15名まで

※作陶体験をされる方で、自分の作品が必要な方は、別途送料が必要です。

天草土人形保存会

どろ 土人形の 絵付け体験

- 8/2①・8/3②
- 9:30受付
- 10:00～正午
- ※小・中学生が対象
- ※各日先着10名まで

□□□□□□□□

お茶接待コーナー お茶

- 8/3②
- 9:30受付
- 10:00～正午
- ※茶菓子付き
- ※先着100名



くまもと子ども芸術祭 2025
in オールあまくさ実行委員長

村上輝和

(熊本県文化協会会長)

「くまもと子ども芸術祭2025 in オールあまくさ〜ひきつぐ文化 かがやく子どもの未来〜」の開催にあたりまして、ご挨拶申し上げます。本日は熊本県竹内副知事様、天草市馬場市長様、上天草市堀江市長様、苓北町山崎町長様や議員の皆様のご臨席を賜りまして、心から御礼申し上げます。

天草は海と山に恵まれた美しい自然環境の地域です。しかし、全国的な少子高齢化の波は熊本県内も同じで、そして熊本地震、大水害、さらにコロナ禍の3年間と、文化界にとりまして大変な時代を経て、やっと各分野の皆様方が活発な活動を再開されています。

熊本県と文化協会では「熊本県芸術文化祭」、また子どもの育成事業として「くまもと子ども芸術祭」を県内各地で開催しています。子ども芸術祭は、第1回(2013年)、第7回(2019年)を天草市で開催し、そして第13回となる今年は天草市、上天草市、苓北町の「オールあまくさ」で開催する運びとなりました。古来から伝統芸能など文化に恵まれ、多くの地域で歴史、文化が豊富に残されているのも、天領としての天草、キリシタン文化としての天草ならではだと思います。今回は司会も含め12団体の子どもたちにより様々な舞台事業が天草市民センターで披露され、体験コーナーでは作陶体験や土人形の絵付け、お点前が、また展示コーナーでは俳句や絵画など天草一円から応募された作品が展示されます。冬季展示として上天草市、苓北町内での作品展示も予定されています。天草地域が一体となった今回の子ども芸術祭は、次世代につなぐ大きな事業になるものと大変期待しております。

結びになりますが、各地域の文化協会、実行委員会、実施委員会、行政の皆様、多くのスタッフの皆様方のご尽力に対して心から御礼申し上げます。



熊本県知事

木村 敬

「ひきつぐ文化 かがやく子どもの未来」をコンセプトに、「くまもと子ども芸術祭2025 in オールあまくさ」が関係者の皆様の御尽力のもと開催されますことを、心より嬉しく思います。

くまもと子ども芸術祭は、地域そしてくまもとの芸術文化の振興と次世代への継承を図る目的で毎年開催され、今年は13回目の開催となります。

今年の芸術祭は、天草市・上天草市・苓北町の2市1町が一つとなって、天草地域の伝統文化を盛り上げます。天草地域は、厳しい時代の中で漁村特有の信仰を守り続けた潜伏キリシタンの歴史を今に伝える、文化的価値を誇る地です。また、天草を代表する民俗芸能牛深ハイヤ節や天草パラモン風、国の伝統的工芸品に指定されている天草陶磁器など、天草地域ならではの伝統文化が今もなお強く根付いています。

本日は、12団体の子どもたちが出演し、地域の風土に根差した伝統芸能である踊りや太鼓など様々なステージが披露されるほか、天草地域の小中学生の作品展示やろくろ体験や郷土玩具づくり体験も行われます。御来場の皆様には、ぜひ、子どもたちの豊かな芸術文化を御覧いただき、堪能いただきたいと思います。

くまもと子ども芸術祭を通じて子どもたちが、地域の伝統文化の魅力を再発見するとともに、世代を超えた交流が生まれ、次代へと受け継がれることを期待しております。

結びに、開催に当たり御尽力を賜りました関係者の皆様方に深く感謝いたしますとともに、本日御出演の皆様の御活躍を祈念いたします。



天草市長

馬場 昭治

「くまもと子ども芸術祭 2025 in オールあまくさ」が、この天草地域で盛大に開催されますことを、心より嬉しく思います。

さて、今回のくまもと子ども芸術祭は、表題の「オールあまくさ」にありますとおり天草市、上天草市、苓北町の天草地域合同での開催となります。次世代の担い手である子どもたちを主体として、天草市の大浦の子守唄や上天草市の龍神太鼓、苓北町の天領太鼓など、12団体による舞台出演や、とおしもん、パラモン風などの展示、作陶体験、土人形の絵付け体験など、天草地域の恵まれた自然と豊かな人情の中で受け継がれてきた様々な伝統・芸術文化に触れることができる機会となっております。ぜひ、子どもたちの練習の成果をご覧いただき、天草地域で受け継がれてきた伝統・芸術文化の素晴らしさと、楽しさに触れていただければ幸いです。

そして、このくまもと子ども芸術祭を通じて、天草地域、ひいては熊本独自の素晴らしい伝統・芸術文化に益々磨きがかかり、地域の活力となって、故郷熊本の未来を明るく豊かにする原動力となりますことを期待しています。

結びに、本日のくまもと子ども芸術祭の開催にご尽力いただきました実行委員会の皆様をはじめ、関係者の皆様へ心から感謝申し上げますとともに、ご出演の皆様のご活躍とご多幸を祈念申し上げます。



上天草市長

堀江 隆臣

第13回くまもと子ども芸術祭 2025 in オールあまくさが、天草地域にて開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。

今年は、天草地域の2市1町合同で「オールあまくさ」として開催する運びとなり、地域全体が大きな喜びと誇りを感じております。

本市には、「阿村がたき踊り」をはじめとする5つの市指定民俗文化財があり、先人たちが大切に守り育ててきた伝統文化が今も息づいています。しかしながら、人口減少に伴い担い手不足が深刻化しており、先人たちが育み、継承してきた伝統文化を次の世代へ繋いでいくことが今の世代の大きな使命であると感じております。

この芸術祭は、未来を担う子どもたちが伝統文化の奥深さや魅力に触れ、体験する貴重な機会となることで、地域の芸術文化が未来へとつながるきっかけになると確信しております。ステージ発表をはじめ、作品展示や体験コーナーなど、子どもたちの創造力と地域文化の力を感じていただける内容となっています。

ご来場の皆様には、子どもたちの活動の成果を存分にお楽しみいただき、地域文化の魅力を再発見していただければ幸いです。そして、この芸術祭が、子どもたちのみならず地域全体の文化の活性化につながることを心より願っております。

結びに、本芸術祭の開催に御尽力いただいたすべての関係者の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、参加される皆様にとって、実り多く素晴らしい時間となりますことを心より祈念いたします。



苓北町長

山崎 秀典

くまもと子ども芸術祭2025 in オールあまくさが、天草地域で盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また今回、天草市・上天草市・苓北町の2市1町が一体となって本芸術祭を開催できますことを、大変喜ばしく感じております。

現在、各地域に伝わる伝統芸能は、人口減少や少子高齢化の進行に伴い、担い手の確保と継承が大きな課題となっております。こうした中、本芸術祭は、未来を担う子どもたちが主体となり、伝統文化の掘り起こしや継承、芸術文化活動の新たな取組みの披露など、郷土芸能や芸術による学びと交流の場として極めて意義深いものです。

苓北町からは、舞台部門において、苓北中学校生徒による「天領太鼓」が披露されるとお聞きしております。この天領太鼓は平成28年度に活動休止状態になり、令和4年度に中学生によって復活しました。実は私自身、平成2年の創設時から奏者や保存会役員として長らく活動に関わった経緯がございます。地元中学生の若い力で活動再開ができたことを大変嬉しく思うと共に、これからもふるさと苓北への熱い思いを込めながら、「天領太鼓」の響きを伝えてもらいたいと切に願っているところでございます。

結びに、本芸術祭の開催に向けてご尽力いただいたすべての関係者の皆様に深く感謝いたしますとともに、本事業が天草の子どもたちの夢と未来を育む大きな力となりますことを、心よりご祈念申し上げます、挨拶といたします。



くまもと子ども芸術祭 2025
in オールあまくさ地域実施委員長

江崎 俊一

(一般社団法人天草市芸術文化協会長)

2013年「くまもと子ども芸術祭」の第1回目の開催を2012年に天草でとのお話をいただいたときは即答でお受けすることにしました。

出演団体が決定し各団体を観させて頂き、地域の方たちは予想以上に必死でした。すでに少子化により、伝統芸能を継承することが難しい状態になっていることが見えてきたからです。

そこで、今ならまだ指導できる人がいるのではないかと、天草独自の「子ども芸術祭」を開催することにしましたが、予想以上に少子化が進み指導者もいない状況でした。しかし、地域の皆様や学校関係、天草市文化課の皆様のご協力で、「あまくさ子ども芸術祭」としては11回目の開催となります。

2019年に2回目、今回3回目の天草での「くまもと子ども芸術祭」開催となりますが、今回の特徴は天草市と上天草市、苓北町の天草2市1町がオールあまくさとしてタッグが組めた事と、事務局部会、展示部会、舞台部会、広報部会など4つの部会を立上げ役割を分担したことで短い準備期間でありながらスムーズな流れで対応できたことです。2市1町の市長町長はじめ上天草市文化協会や苓北町文化協会、教育委員会や学校関係、各町の皆様など、多くの方々のご協力を頂き、本日「くまもと子ども芸術祭」を開催できることに深く感謝申し上げます。